

三角形の線分の比と面積比

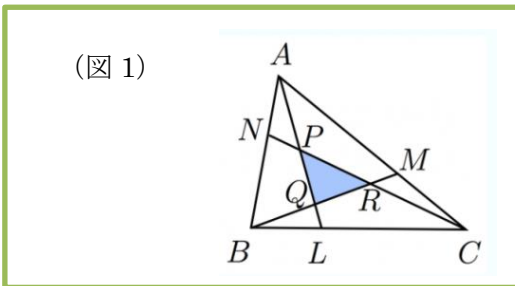


三角形 ABC の各辺 BC, CA, AB 上にそれぞれ L, M, N を,

$$\frac{BL}{LC} = \frac{CM}{MA} = \frac{AN}{NB} = \frac{1}{2} \text{ となるようにとる。AL と CN の交点を P,}$$

AL と BM の交点を Q, BM と CN の交点を R とするとき,

三角形 PQR と三角形 ABC の面積比を求めよ。



解答 点 L から直線 BM に平行な直線を引き、辺 AC との交点を S とする。

$MS:SC = BL:LC = 1:2$, $AM:MC = 2:1$ だから、連比で考えると、

$AM:MS:SC = 6:1:2$ となる。すると、 $AQ:QL = AM:MS = 6:1$

$\triangle ABL$ と $\triangle ABQ$ の面積比を考えると、 $\triangle ABL : \triangle ABQ = AL:AQ = 7:6$

ゆえに、 $\triangle ABQ = \frac{6}{7} \triangle ABL = \frac{6}{7} \times \frac{1}{3} \triangle ABC = \frac{2}{7} \triangle ABC$,

辺を内分する比が同じだから、 $\triangle BCR = \triangle CAP = \triangle ABQ = \frac{2}{7} \triangle ABC$

よって、 $\triangle PQR = \triangle ABC - 3 \times \triangle ABQ = \triangle ABC - \frac{6}{7} \triangle ABC = \frac{1}{7} \triangle ABC \dots\dots (*)$

したがって、 $\triangle PQR : \triangle ABC = 1 : 7$ **答**

発展 それでは一般化して、 $\frac{BL}{LC} = \frac{CM}{MA} = \frac{AN}{NB} = \frac{m}{n}$ (ただし、 $m \neq n$)

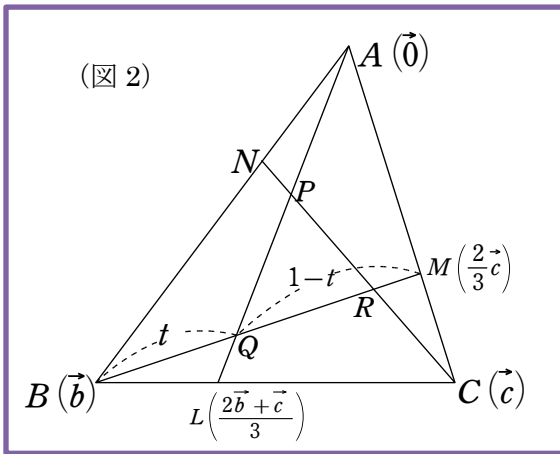
とした場合はどうなるだろうか？

まずメネラウスの定理を使って、 $\frac{AQ}{QL} \cdot \frac{LB}{BC} \cdot \frac{CM}{MA} = 1 \Leftrightarrow \frac{AQ}{QL} \cdot \frac{m}{m+n} \cdot \frac{m}{n} = 1$

よって、 $\frac{AQ}{QL} = \frac{n(m+n)}{m^2}$, これより、 $AQ:AL = n(m+n) : \{n(m+n) + m^2\}$

$\therefore \triangle ABQ = \frac{AQ}{AL} \triangle ABL = \frac{n(m+n)}{m^2 + mn + n^2} \times \frac{m}{m+n} \triangle ABC = \frac{mn}{m^2 + mn + n^2} \triangle ABC$

(*)より、 $\triangle PQR = \triangle ABC - 3 \times \triangle ABQ = \left(1 - \frac{3mn}{m^2 + mn + n^2}\right) \triangle ABC = \frac{(m-n)^2}{m^2 + mn + n^2} \triangle ABC$



ベクトルの利用

別解 次に、ベクトルの利用を考えよう!

(図2) のように、点 A を原点とする位置ベクトルを考え、 $B(\vec{b}), C(\vec{c})$ とする。

与えられた線分の比より、 $L(\frac{2\vec{b} + \vec{c}}{3})$ 、 $M(\frac{2\vec{c}}{3})$ となる。

続いて、 $BQ:QM = t:(1-t)$ とすると、 $\overrightarrow{AQ} = (1-t)\vec{b} + \frac{2}{3}t\vec{c}$ ……① と表される。

一方、 $\overrightarrow{AQ} = k\overrightarrow{AL}$ と表され、 $\overrightarrow{AQ} = \frac{2}{3}k\vec{b} + \frac{1}{3}k\vec{c}$ ……② となる。

\vec{b} と \vec{c} は平行ではなく、 \overrightarrow{AQ} は \vec{b} と \vec{c} によって1通りに表されるから、

(これを「 \vec{b} と \vec{c} は1次独立である」という) $1-t = \frac{2}{3}k$ ……③, $\frac{2}{3}t = \frac{1}{3}k$ ……④

③, ④ を解いて、 $k = \frac{6}{7}, t = \frac{3}{7}$, よって、 $\triangle ABQ = \frac{6}{7}\triangle ABL = \frac{2}{7}\triangle ABC$

同じ位置関係にあるので、 $\triangle BCR = \triangle CAP = \triangle ABQ = \frac{2}{7}\triangle ABC$, 以下(*)と同じ。

補足 $\frac{BL}{LC} = \frac{CM}{MA} = \frac{AN}{NB} = \frac{m}{n}$ (ただし、 $m \neq n$) とした場合は、ベクトルの得意とするところである。 **別解**と同じ位置ベクトル設定でいくと、

$$L\left(\frac{n\vec{b} + m\vec{c}}{m+n}\right), \quad M\left(\frac{n}{m+n}\vec{c}\right)$$

$BQ:QM = t:(1-t)$ として、 $\overrightarrow{AQ} = (1-t)\vec{b} + \frac{tn}{m+n}\vec{c}$ ……⑤

$\overrightarrow{AQ} = k\overrightarrow{AL}$ と表され、 $\overrightarrow{AQ} = \frac{kn}{m+n}\vec{b} + \frac{km}{m+n}\vec{c}$ ……⑥ となる。

\vec{b} と \vec{c} は1次独立だから、 $1-t = \frac{kn}{m+n}$ ……⑦, $\frac{tn}{m+n} = \frac{km}{m+n}$ ……⑧

⑦, ⑧ を解いて、 $k = \frac{n(m+n)}{m^2 + mn + n^2}, t = \frac{m(m+n)}{m^2 + mn + n^2}$

$\triangle ABQ = k\triangle ABL = \frac{n(m+n)}{m^2 + mn + n^2} \times \frac{m}{m+n}\triangle ABC = \frac{mn}{m^2 + mn + n^2}\triangle ABC$

以下、**発展**と同じ。(m,n)に様々な値を代入すると、直ちに面積比が求められる。